

久慈川・那珂川流域の市町から今回申請のあった石碑一覧

流域	市町村名		伝承碑数	碑名	伝承されている災害	備考
那珂川	茨城県	水戸市	3	洪水記念	昭和13年洪水（1938年）	令和元年登録済の「洪水記念碑（昭和13年洪水）」に加え今回3基の追加公開
	茨城県			戊寅水難之碑	昭和13年洪水（1938年）	
	茨城県			洪水記念	昭和13年洪水（1938年）	
	茨城県	常陸大宮市	1	築堤記念碑	洪水（1938年、1941年）	
久慈川	茨城県	常陸太田市	1	久慈川改修記念碑	洪水（1786年）ほか	
	茨城県	大子町	3	明治二十三年洪水被害記念碑	洪水（1890年）	
	茨城県			可恐（おそるべし）	洪水（1890年）	
	茨城県			可恐（おそるべし）	洪水（1890年）	
計			8			

※「自然災害伝承碑」の公開数は、47都道府県186市区町村606基（茨城県内では7市町18基）となります。



## ③可恐(おそるべし)

(茨城県太子町)



明治23年(1890)8月7日、久慈川は未曾有の大洪水に見舞われ、河川の水位は平時と比べて約6m増水した。この地域では、田畑約3haが流された。旧太子村の被害は溺死者4名、流失家屋13棟、浸水家屋250戸余を数え、町家の大半が浸水した。碑は建立時より高い位置に移設されている。

## ④築堤記念碑

(茨城県常陸大宮市)



昭和13年(1938)9月1日と昭和16年(1941)7月22日の豪雨では、天明年間以来の大洪水が発生した。水位は8mに及び、野口地区は濁流に襲われ、耕地は20haが流され、家屋は約30棟が浸水し、被災者は約200名に及んだ。

## ⑤久慈川改修記念碑

(茨城県常陸太田市)



久慈川では明治以降昭和20年代まで34回もの大洪水や風水害の記録がある。豪雨に襲われると河川は幾度も氾濫、山崩れを誘発し、あるいは堤防を決壊して、たびたび人命を奪った。碑には天明6年(1786)以降、アイオン台風(昭和23年(1948))に至る洪水被害の歴史とともに、河川改修整備の経過が記されている。

## ⑥洪水記念

(茨城県水戸市)



昭和13年(1938)は那珂川の氾濫により3ヶ月の間に3回の洪水が発生し、県下では崖や道路の崩落、橋や家屋の流失、耕地の埋没などの大被害が発生し、この村も大きな被害を被った。特に9月1日の氾濫では上流側の栃木県の降水量が多かったため濁流となり、流域各地は泥海となった。天災は逃れる事はできないが、人の力が及ぶ範囲は努力しなければならない。